

第66回国民体育大会関東ブロック大会 バスケットボール競技

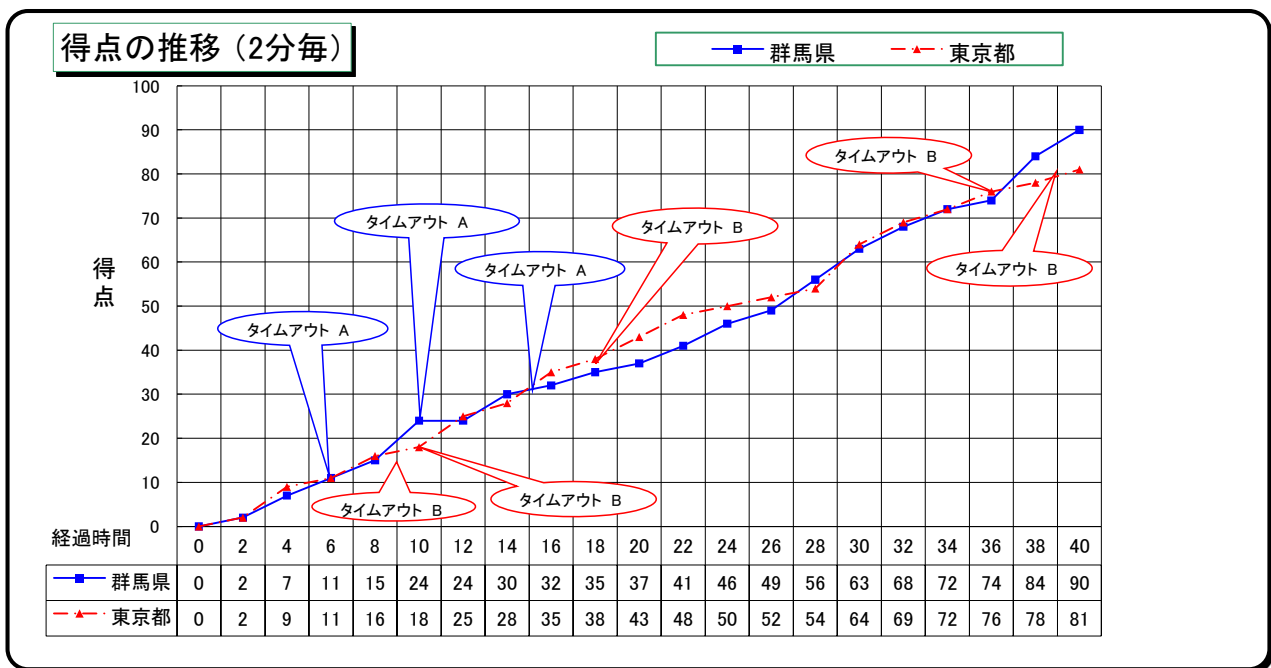
【少年男子】 <1回戦>

平成23年 8月20日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Aコート	第1試合 9:30~		
<チームA> 群馬県 少年男子		90 { 24 1Q 18 } { 13 2Q 25 } { 26 3Q 21 } { 27 4Q 17 } 81			<チームB> 東京都 少年男子	
主審: 清水 幹治(神奈川) 副審: 一色 渉(茨城)						

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	木村 啓太郎	2			2	
	5	小町 佑樹	14	4	1		2
	6	栗原 奨太	14		7		4
	7	船生 誠也	37	2	13	5	2
	8	牧 秀行	7		3	1	1
	9	加久保 祐弥	4		2		
	10	清水 大樹	5		2	1	1
	11	中島 一樹					
	12	赤石 遼介	5	1	1		2
	13	古賀 雷	2		1		1
	14	小倉 溪					
	15	平栗 一真					1
コーチ		渡辺 英輔					
合計			90	7	30	9	14

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	田渡 凌	25	1	11		2
	5	伊藤 晶	17		6	5	2
	6	池田 慶次郎	11	1	3	2	
	7	鈴木 夕介	14	2	4		5
	8	平川 啓太郎					
	9	真木 達	12	2	3		1
	10	了海 渚					1
	11	畠山 大典					
	12	寺田 ジェシー					4
	13	藤井 駿					4
	14	新川 敬大					
	15	新号 健	2		1		
コーチ		森茂 達雄					
合計			81	6	28	7	19

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 森下 佑介

第1P
両チームともマンツーマンディフェンスで始まり、互いに静かな立ち上がりでゲームが進んでいく。東京は、#5伊藤のインサイドプレーを軸にオフェンスを組立てていく。群馬も#9加久保のインサイドプレーや#7船井のドライブから得点を重ねていき、24-18で群馬が6点リードで終わる。

第2P
東京は、ヘルプの意識を強め群馬のドライブを封じながら、オフェンスでは#9平川の3Pシュートやドライブからの合わせ、スクリーンプレーなどの連携プレーで流れを掴んでいく。対して、群馬はファウルがかさみ苦しい状況だが、#10清水のドライブなどを中心に応戦し、37-43で東京が逆転し、6点リードで前半を折り返す。

第3P
東京は、序盤から順調に得点を重ねて流れを離さない。群馬は、オールコートの速い展開と激しいディフェンスで徐々に追いついていき、残り3分で53-54と1点差まで詰め寄った所で、東京はたまたまタイムアウトを取る。その後は、互いに譲らない攻防が続き63-64と互角の勝負で終わる。

第4P
両チームとも残り4分まで得点の取り合いが続くが、群馬がタイムアウトを取る。タイムアウト後、群馬は#7船井のリバウンドからのバスケットカウントを皮切りに#5小町の3Pシュートなどで流れを掴み逆転に成功する。対して、東京も#12寺田がリバウンドを積極的に取りに行き、#5伊藤がゴール下のシュートを確実に決めていくなど群馬に食いついていくが、流れは変わらず90-81で群馬が勝利を飾った。